

教員会議(1704回)・研究科委員会(496回)議事要録

日時：平成29年7月12日(水)13時30分～17時45分

場所：人間発達文化学類大会議室

【確認事項】教員会議(第1703回)・研究科委員会(第495回)の議事要録(案)について、確認された。

教員会議

【審議事項】

1. 人事について：今後の人事計画について(資)

学類長から、標記について、人事課から依頼があり、人事委員会で協議した。教育研究院での審議等、今後の経緯及び全学のポイント制、特に本学類が所有するポイント数について説明があり、来年度の利用可能ポイントについては、0.5になるとの説明があった。

次いで、具体的な案件として、凍結人事については、昨年度は臨床心理1名、スポーツ2名、デザイン1名を全学に上げていたが、その後本学類の教員定数が66名に決定され前提条件が変更したので、将来計画検討委員会の議論のなかで考える。大学院の現状の機能は維持するので、凍結扱いの臨床1名については、特任教員で2年間対応する。

退職者の後任補充については、教員配置を将来計画検討委員会で検討を進めるなかで決定する。当面、特任教員で対応することを基本とするが、特段の事情がある場合は、事情に応じて専任教員を検討する。以上のことから、数学科教育は、特任教員とする。幼児教育については、関係の先生方に大学教員、幼稚園長経験者について、近隣を調査してもらったが、数も限られ、また、退職者が見込めず、幼稚園長経験者は、研究業績を持っている方が皆無であり再課程認定に対応できず、特任教員の採用を見込むことが出来ない。そこで准教授1名の採用計画で行いたい。

4月1日付けの昇任については、総合的に判断し、准教授から教授2名、講師から准教授1名とする。

特任教員については、誰という具体では無く、総数について確認したい。総数は、20名とし、今年度在籍の19名は継続とする。ただし、住居学については、年齢の関係で継続出来ないため、新規で1名を採用する。数学科教育及び臨床心理学を含め計20名となる。

以上の4点を受けて、幼児教育専任採用(准教授)で+0.8ポイント、准教授 教授昇任2名で+0.4ポイント、講師 准教授昇任1名で+0.1ポイント、計1.3ポイントとなる。利用可能なのは、0.5ポイントなので、0.8ポイントで来年度の人事計画を立てることになる。なお、特任教員については、来年度はカウントしない。参考として特任教員のポイントは、6となるとの説明があった。

その後、任期付きの教員は採用しないのかという質問があり、特任教員Bについては、検討中であり、議論もされているが、全学には以上のとおり回答したいとの提案があり、承認された。

2. 教務委：

(1) 平成29年度転専攻の選考結果について(資-回収)

牧田委員から、標記について資料に基づき説明提案があり、承認された。なお、転学類は無しとの補足説明があった。

(2) 平成29年度非常勤講師計画の変更について(資)

牧田委員から、標記について資料に基づき説明提案があり、承認された。

3. 入試委：

(1) 平成30年度一般入試学生募集要項・私費外国人留学生入試学生募集要項の音楽「指定の曲目」について(資-回収)

佐藤(佐)委員から、標記について資料に基づき説明提案があり、承認された。

(2) 平成30年度一般入試学生募集要項の体育「実技実績調査書」について(資-回収)

佐藤(佐)委員から、標記について資料に基づき説明提案があり、承認された。

4．学生生活委：入学料免除・入学料徴収猶予選考結果について（資）

半沢委員長から、標記について資料に基づき説明提案があり、承認された。

5．将来計画検討委：学類改革（第四次案）について（資）

学類長から、議事に先立ち、現在の状況について共通理解をしてから始めたいとの話があった。論点整理として、学類内外の要因があり、外的要因としては、理工系重視、食農学類の創設に伴う学生定数・教員定数の変更、進学希望学生への説明、ポイント制の導入など大学の財政問題、

内的要因としては、本学類の性格、他学類の教員養成の在り方、教員・学生定数の削減、教職大学院の設置に伴う学類教育への影響、ミッションの再定義、改組の必要性等があるとの説明があった。次いで、改組の方向性として、人材養成のポリシーは変更しない、学外に対して改組のプラスの要素を打ち出す、学内の組織改編見直しで、教員の引き剥がしができない配置にする、機能を重ね合わせる、場当たりでなく、今後に向けての方向性を打ち出せる中身が必要、改組後の成果が学外に出せるか、複数教員免許取得のカリキュラムの見直し、県教委との協力関係・連携についても考える必要があるとの説明があった。

その後、井實委員長から別紙資料に基づき説明の後、資料の「複数免許」中に特支も入っていると確認してほしい、中期目標・中期計画に沿った人材育成を評価すべき、学習集団の領域・スケジュール・コースの名称はどうなるのか、文化探究コースの突出した学生数の是非、同コースの入試への影響、7コースに分けた経緯、3ポリシーとの関係、理科についての県教委・ステークホルダーへの説明、撤退教科に対する前回との議論との関係、他学類との学内での関係、撤退教科の決定時期、推薦入試の方向性等について意見があり、井實委員長から、名称については、イメージ・仮称であり、今後問い合せ・検討する。入試は議論しておらず工夫が必要。3ポリシーについては現時点で考えていない、今後考えていく。前回の議論を無視した訳ではない。等の説明があり、『5．教員配置の基本方針』中、3)5行目「検討するにあたっては、～以降」及び4)、5)以外については、承認された。

【報告事項】

1 - 1．教育研究評議会：第283回(6/20)

(審議事項)

(1) 経済経営学類長の辞任に伴う後任者の任期について（資 - 掲）

(2) 「福島大学教育改革ビジョン2019」について（戻り報告）（資 - 掲）

(報告事項)

(1) 平成28年度 foR プロジェクト成果報告について（資 - 掲）

(2) 第2期中期目標期間の業務実績評価結果について（資 - 掲）

(3) 現代教養コースにおける放送大学の活用について（資 - 掲）

(4) 福島大学国外活動時の危機管理方針について（資 - 掲）

(5) 各大学等での入試改革の動向について（資 - 掲）

1 - 2．教育研究評議会：第284回(7/4)

(審議事項)

(1) 「福島大学教育改革ビジョン2019」について（継続審議）（資 - 配布）

(報告事項)

(1) 平成28事業年度決算について（資 - 掲）

(2) 平成30年度概算要求について（資 - 掲）

(3) 平成28年度監事監査結果について（資 - 掲）

(4) 平成28年度内部監査における改善措置等について（資 - 掲）

(5) 「福島大学に求められる学長像」の報告について（資 - 掲）

2 - 1 運営会議：第94回(7/11)

(1) 科研費審査システム改革等について（資 - 配布）

(2) 名古屋議定書アンケートについて（資 - 配布）

(3) 農学支援基金寄附状況の中間報告について

(4) 平成29年度高校訪問について(資-掲)

3. 教務委:

(1) 現代教養コースにおける放送大学の活用について(資)

平中委員から、標記について説明報告があり、関係科目担当教員から、放送大学の履修で良いのか、大学の存在価値等についての意見、また単位認定の方法等について質問があり、関係者間で検討することとなった。

(2) 大学院生の科目等履修生への出願について(資)

牧田委員から、標記について資料に基づき説明報告があり、了承された。

(3) 「英語の語学研修に係る学修の単位認定に関する要項」の改正について(資)

牧田委員から、標記について資料に基づき説明報告があり、了承された。

4. 広報・情報管理委:

(1) 秋のオープンキャンパスについて

原野委員長から、標記について10月21日(土)に開催する予定との説明があり了承された。

(2) G-mailの2段階認証設定についてのお願および海外渡航の際の学類アカウントの使用について

佐藤(元)委員から、標記について海外で使用する際に、パスワードが受信出来ないなどの状況が発生しているので、事前に受信するなど安全な方法を確認してほしいとの説明があり了承された。なお、設定に不安のある方などは本委員会委員および支援室の小原室員に連絡願いたいとの説明があった。

5. 国際交流センター運営会議:平成29年度後期交換留学生の受入について(資)

高橋(優)委員から、標記について資料に基づき説明報告があり、了承された。

6. 学類長:

(1) 教員の外国出張・海外研修について

学類長から、以下について学類人事委員会で承認したとの報告があり、了承された。

外国出張	蓮沼哲哉	29. 7. 19~29. 7. 24	インドネシア(トライアスロン連合)
	水澤玲子	29. 7. 23~29. 7. 29	中華人民共和国(学術振興基金)
	牧田 実	29. 8. 8~29. 8. 17	タイ(科研費)
	内田千代子	29. 8. 9~29. 8. 28	アメリカ(科研費)
	杉田政夫	29. 8. 26~29. 9. 2	ノルウェー(科研費)
	谷 雅泰	29. 8. 30~29. 9. 10	ノルウェー、デンマーク(科研費)
	高橋純一	29. 8. 30~29. 9. 10	ノルウェー、デンマーク(科研費)
	阿部成治	29. 9. 19~29. 9. 27	ドイツ(私費)
海外研修	中村恵子	29. 8. 13~29. 8. 23	フランス(私費)

(2) 受託事業の受入について

学類長から、以下について受託研究審査委員会で承認したとの報告があり、了承された。

川本和久 相手先:二本松市

事業名:二本松市川本元気塾市民の健康づくり事業

期 間:契約締結日~平成30年3月16日

事業費:356,400円

研究科委員会

【審議事項】

1. 学生生活委:入学料免除・入学料徴収猶予選考結果について(資)

半沢委員長から、標記について資料に基づき説明提案があり、承認された。

【報告事項】

1. 入試委:大学院入試における福島県教育委員会の年齢等推薦条件の廃止について

澁澤委員長から、標記について資料に基づき説明報告があり、了承された。

(アナウンス)

「教養演習 ・基礎演習」実施概要調べについて(教育課程委)

標記について、教養演習 ・基礎演習担当者に対し、実施概要調査への協力依頼についてアナウンスがあった。

第16回学類FD研修会「2017年度教養演習 ・基礎演習報告会」について(教育課程委)

標記について、7/26に予定しているFD研修会の実施について、アナウンスがあった。

大学院新入生アンケート調査について(教育課程委)

標記について、大学院新入生の入学動機、学習状況、教育ニーズを把握するためのアンケートを実施するとアナウンスがあった。

メッセージプロジェクトの実施について(資)(入試広報委)

標記について、別紙資料に基づきアナウンスがあった。

平成29年度前期共通領域科目履修者数一覧表について(共通教育委)

標記について、教員控室に掲示しておくので、各自、確認願いたいとのアナウンスがあった。

学生の表彰について(学生生活委)

標記について、9月卒業・修了生を対象とした学生表彰推薦を依頼するとのアナウンスがあった。

メンタルヘルスオリエンテーションの終了について(学生生活委)

標記について、今年度の終了報告と今後の学生指導の協力依頼のアナウンスがあった。

学術機関リポジトリシステムの変更について(図書館運営委)

標記について、現在の学術機関リポジトリのトップページを修正し、新しい学術機関リポジトリをコーディネートしていく予定のため、新規登録についてアナウンスがあった。

同窓吾峰会クラス代表の選出について(資)(学類長)

松浦同窓吾峰会役員から、標記について経緯及び協力依頼のアナウンスがあった。

平成29年度後期研究支援員制度募集関係について(男女共同参画推進専門委)

標記について、「研究支援員配置希望(教員向け)」及び「研究支援員登録の募集(大学院生向け)」についてアナウンスがあった。

次回の教員会議は、9月13日(水)13:30から開催することとした。